

自然体で暮らす／いなか王国・高知県安田町

まんま

Vol.7

Enjoy Country Life
YASUDA CHO

「第7号」2005 SEPTEMBER 9

安田町
ふるさと便
Vol.7

本誌で紹介した「せせらぎの郷 小川」は一般の方にもご利用いただけます。ぜひ一度ご利用ください。



施設ご利用案内

施設利用料

利用時間 利用者	昼間(日帰り)	夜間(宿泊有)	終日(宿泊有)
	10時～16時	16時～翌日9時	10時～翌日9時
1名様	500円	1,000円	1,500円
貸切料金	5,000円	10,000円	15,000円

※寝具の貸し出しもいたします。(1名様500円・宿泊定員12名)※食材は各自用意ください。(食器類完備)※ユニットバス、水洗トイレ、講堂、調理室、冷蔵庫は貸し切り以外共同となる場合もあります。※洗面用具・タオル等はご持参ください。※1名様の料金は、小学生半額・小学生未満の方は無料です。※高校生以下のみでの利用はできません。

体験コース(施設利用込み・昼食付)〈午前10時～〉

月曜～金曜			土曜・日曜	冬季限定
餅づくり	まんじゅうづくり	田舎寿司づくり	そば打ち	こんにゃくづくり
2,000円	2,000円	2,000円	2,000円	2,000円

※上記料金は1名様あたりの料金です。※全体験コース定員5名～15名、要予約。※体験コースのスタッフは小川地域の方です。※小学生以下も有料。

夏休み期間中は、施設を使用する場合、川を利用した河川プールをご利用になれます。(午前10時～午後3時まで)但し、降雨や増水時は、つくらない場合がありますのでご了承ください。

施設のご利用は全て**要予約**です。(体験コースは1週間前までに要予約)ご予約は2ヶ月前からできますので、必ず下記まで連絡をお願いします。

お問い合わせ・予約先

安田町教育委員会 TEL.0887-38-5711

(受付時間／月曜～金曜 8:30～17:00・祝祭日除く)

編・集・後・記

今回もたくさんの方に取材協力をしていただき、ありがとうございました。こんな場所、こんな人を掲載してほしいという情報がありましたらFAXにてお知らせください。



お問い合わせは

安田町役場企画財政課

〒781-6421 高知県安芸郡安田町大字安田1850

TEL.0887-38-6713 FAX.0887-38-6780

HP <http://www.town-yasuda.mykochi.jp/home.htm>

E-mail ysd-kikaku@town-yasuda.mykochi.jp

安田町役場中山支所／〒781-6430 高知県安芸郡安田町大字正弘716-2
TEL.0887-39-2008 FAX.0887-32-4008

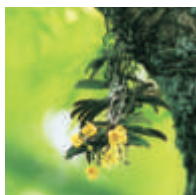


旧／日浦橋

安田町

いつまでも自然美しい故郷であるために
安田町は変わります。

どうか、ずっと、見守っちよつてや。



Contents

3 5 7 9 10 11 13

安田町のあした

安田町東島●有岡正幹町長

小学校を地域交流センターに

せせらぎの郷小川

安田町人物紹介

土佐漆喰職人

安田町大字西島●久保田騎志夫さん

かずら編み

安田町東島●小島忠子さん

エコなす栽培農家

安田町唐浜●公文順一さん

今昔写真館

なつかしマップ





併設の安田幼稚園・安田保育所



グループホーム「くすのきの里」



エコソフト(堆肥施設)

●有岡／安田町は基幹産業の施設園芸をはじめ、農林水産の二次産業が盛んな町です。しかし残念なことに、これら産業は現在、非常に

自然を生かした 新たな産業を

産業振興面はどうか？

民の皆さんに投げかけ、行政への住民参画を進めたいと思います。

苦しい経営環境にさらされています。町としても新たな産業の育成、企業誘致などに取り組み、これまでの農業立町から次の姿を模索しているところです。

●有岡／安田町は手付かずの美しい自然があり、清流安田川さらに四国霊場八十八カ所27番札所の神峯寺も有している。これら価値の高い観光資源を上手に活用すれば、観光産業の振興や町の活性化につながるのではないだろうか。

小川地区では昨年度、小学校の廃校跡を利用して交流施設を造りました。柱など元あったものを生かすことで自然に溶け込んだ施設が完成し、都会から自然を求めてやってくる人たちの新たな受け

●有岡／安田町を離れた方にとつては、まさに「郷里は遠くにありて想うもの」という感じで、安田町のことを見守つてくださっていることと思います。その方たちに向けて元気な姿を発信できるよう、いつまでも元気な郷里であるよう、町の舵取りをしていきます。



●有岡／今後、非常に厳しい町財政に陥るのは必至。このため、自らの力で歩んでいくための基盤を早急に確立しなければなりません。そこで、町政のあらゆる面で直直しを図らなければならない。

町長としてはどのような方針で、この改革を進めていくのか。

●有岡／行政の透明性を高め、住



民の皆様と行政の距離が縮まるよう努力します。住民との対話の場である「行政懇話会」などを今後も重ねていき、町の現状や町政についてご理解いただくとともに、住民のご意見を吸い上げて施策に練り上げていきたい。これからの町政には住民力が不可欠です。「こういう事業があるけどどうぜよ？」と町

●3町村合併問題について

合併特例法を受け、中芸4町村(安田町・田野町・奈半利町・北川村)で立ち上げられた法定合併協議会は、田野町の離脱で解散。その後、田野町を除く3町村で合併の検討に入り、平成17年2月、新たに法定協を立ち上げる。しかし、北川村議会による合併関連決議案否決により、3月31日の特例法期限目前に合併は白紙になった。



町のみんなが力をあわせて
安田をもっと
すてきな町にするさわー。

安田町東島 ●有岡正幹町長

元気な郷里であり続けたい。

住民力を発揮し
自分の足で歩める町に



夏は川遊びも
できるとね。

うちらあの 学校に遊びに来いよ。

いつでも
使えてよ。

県内産の木をうんと
使うちゅうき、
えい匂いがするじ。



小川小学校が、交流宿泊施設
としてよみがえりました。

昭和56年、廃校になった小川小学校。以来、地域の集会場として利用されていた体育館がこの春、交流宿泊施設「せせらぎの郷 小川」としてよみがえりました。杉とヒノキが使われた建物はすがすがしい木の香が漂い、山里にふさわしい趣。小川地区に300余年伝わる獅子舞の練習場でもある講堂のほかに和室、調理室、風呂を完備し、宿泊も可能になっています。



らを生かして、山里ならではの交流が図れる施設を造ろう！と計画が広がっていきました。

小川地区18世帯の住民の多くが65歳以上の高齢者。だから、「無理せず、できることをぼちぼちと、心を込めてやっていきたい」と前田さん。7月末までに河川プールを楽しんだ親子連れな

ぶっ
ぶっ



今日の田舎ずしは
ようできたねえ



●安田町大字小川在住
前田 省永さん(71歳)



せせらぎの郷 小川
安芸郡安田町大字小川
お問い合わせ先
安田町教育委員会／TEL.0887-38-5711
※詳しい施設案内は裏表紙へ

ど何組かの利用客があり、普段は静かな小川地区がにぎやかに。たとえ学校がなくなっても、子どもたちの元気な声が響く場所。生まれ変わった小川小に遊びに来ませんか。

「もともとは、老朽化の進んだ集会場の改築を町にお願いしたのがきっかけです」と小川自治学級(自治会)会長の前田省永さんは話します。せき止めれば河川プールが出来る清流や、まんじゅうやこんにやく作り体験、山菜や鹿肉といった山の幸など、学校周辺はのどかな魅力にあふれています。それ



河川のプール



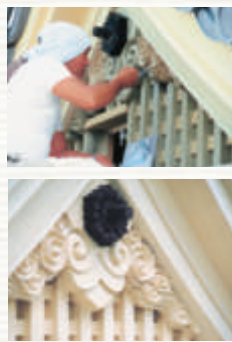


の棟梁に「拾い上げてもらった」おかげで、何とか仕事を続けていくことが出来ました。「わしは本当に運がいい」と久保田さんは振り返りますが、その影にはためめぬ努力があったのも事実。早く湯の沸く風呂や使い勝手のいいメシクド（かまど）、誰よりも美しく仕上げた瓦葺きなど、着実な仕事ぶりが評判を呼び、仕事を広げていきました。

いた昭和40年代半ばに、土佐漆喰が注目されます。しかし、従来の土佐漆喰は重量が重く、窓などの開口部が広く取られる現代住宅に適したものではありません。そこで久保田さんは技法の改良を重ね、軽量化の技術を確立しました。

久保田さんの話を聞いていると、ちらりと職人としてのプライドが顔を出します。長年培ってきた技術と経験から下す判断は、時に建築家らとぶつかる事もありました。それでも、己を曲げない「いづつそう」。そこに久保田さんの職人氣質がうかがえます。安田町には久保田

さんが手がけた、そして他の職人による土佐漆喰の家がいくつも建っています。しかしある人いわく「久保田さんの仕事は磨きが違う。年月を経ても白く美しい」。



●安田町大字西島在住
久保田 騎志夫さん
(67歳)



平成17年「黄綬褒章」受章

職人氣質を貫き通して 土佐漆喰を極める

高知が誇る伝統の建築素材、土佐漆喰。久保田騎志夫さんは40余年の左官人生の中で、土佐漆喰を育み、現代にゆみがえらせました。今年、その功績から黄綬褒章を受章。その歩みは、まさに職人氣質のひと言です。

「隣りの左官の親方に弟子にしちやるつて言われてね」と久保田さん。農家の五男坊に生まれ、親の言われるまま弟子入りに。昭和29年、久保田さん中学卒業の春のことでした。「本当につらかった。休みはない、給

料は出ない、しかも工事現場までの移動は自転車」。そんな修行中、親方の不慮の事故死で、4年7ヶ月にして否も応もなく独立。若干19歳の親方に、仕事を任せる施主はなかなかいません。しかし、馬路村の大工





「2割減収、なーんて年もあったねー」。
そう話す公文順一さんは、エコ栽培に取り
組む米ナス農家です。エコ栽培とは、
受粉や害虫対策に役立つ虫をハウス内
に放し、農薬の使用を抑えるというもの。
「安全・安心志向の高まる消費者ニーズ
に応えた、付加価値のある野菜こそが
産地間競争に勝つ道」と安田町で率先
してエコ栽培に取り組みます。

「最初は思うように効果が上がらず、女
房が猛反対：」。ともにハウスに入り、農
作業に従事する奥様。公文さんいわく、
「最大の理解者であるとともに、最も大
きな目の上のタンコブ」であるそう。

それでも平成16年には安定した収穫を

エコファーマーとして 農業をもっと面白く。



●安田町唐浜在住
公文順一さん
(48歳)

上げ、栽培
方法も定着
してきました。
「昔ながらのやり
方を続けていても面白
くないでしょ」と公文さん。
公文さんのやりがいは、こんなところか
ら生まれています。



子どもの頃、ひ祖母
ちゃんに教わったか
ずら編みを、子
育てがひと段落
したからと始め
た小島さん。リー
スやかご作りから
はじまって、その数、
500作品以上。

「まず、材料になるかず
らを取りにお父さん(旦那
様)や友達と一緒に山に
入るのが楽しい。取ってきた
かずらで、さて何をつくらう
と考える時間が楽しい」と小島さん。

手をかけてつくったかずら編み。
どれもわが子のようにいいとおしい。



●安田町東島在住
小島 忠子さん
(70歳)

工夫を凝らし、手をかけてつくった作
品は、どれも手元においておきたくなる
ほど可愛らしい、と目を細めます。気
に入った作品を置いてある専用の部屋に
ずらりと並べられたかずら編みは、どれ
もホコリひとつなくピッカピカ。大切に
思う小島さんの心が伝わります。

秋から冬がかずらを取りに行く季節。
小島さんは今から楽しみでなりません。



特定優良賃貸住宅

味工房じねん

新／安田町正弘の町並み

今と昔じゃあ風景も
だいぶ変わったさ、
写真で案内するさわ。

旧中山小・中学校

旧／上の写真と同じ方向から撮影された安田町正弘の町並み



新／創部20年目に全国学童軟式野球大会(8月6日～11日茨城県水戸市で開催)に初出場を果たした安田スポーツ少年団。



新／せせらぎの郷 小川(河川のプール)



旧／小川小学校(河川のプール)



新／荒田橋



旧／荒田橋



旧／相撲大会



マなツプかし

小川獅子舞 (川上神社)

安田町小川にある川上神社は淀比売神(よどひめのかみ)を祭神とする神社で、町指定文化財社宝棟札群十八枚を蔵している。また、この神社には三百年余の昔から奉納踊りとして伝えられてきたものに太鼓踊りと獅子踊りがあり、今でも小川獅子舞は保存会の人々により受け継がれている。川上神社には面白い伝承があり、獅子舞を奉納すると五穀豊穰、子孫繁栄をもたらすが、相撲が奉納されると必ずめ事や喧嘩が起って、けが人が出たという。



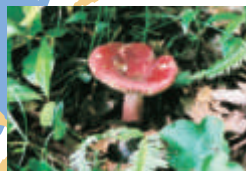
せせらぎの郷 小川

せせらぎの郷 小川の
詳しい利用案内は
裏表紙をご覧ください。



北寺
国指定重要文化財
仏像群(9体)

せせらぎの郷
小川
ふるさと小川
地場産品販売所
川上神社



これは
毒キノコ!!



この看板が
目印です。



小川獅子舞



川上神社

空と海の展望公園
県指定天然記念物
大くすの木

県指定
保護文化財
神峯神社

神峯寺

ほたるの里
河川公園

二十三士副首領
清岡治之助碑



唐浜駅まつり



町民文化センターで
貸出しているレンタサイクル

西法寺

老人憩いの家

中芸軍鶏組合
安田場所

グループホーム
「くすのきの里」

安田幼稚園・安田保育所
安田中学校

鉄塔
(NTTドコモ・FOMA)



自然薯オーナー募集中!! (おひさま農園)

1月から12月の1年契約で、1口当たり10本の種芋を植えていただけます。作柄は天候にも左右されますが、大きい物で1kgほど。悪天候の場合でも1口当たり5kgの自然薯をお持ち帰りいただけます。

※申し込みは10月末日迄

詳しいお問い合わせは
味工房じねん
TEL.0887-39-2366



自然薯の葉



鉄塔 (NTTドコモ・FOMA)